

一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校



かいどい



学校だより令和5年度 第1号

令和5年4月6日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校
校長 鈴木 純一郎

満開の桜とともに春の草花が美しい季節を迎えました。学校の近くの公園では、お花見を楽しむ人々がたくさん見られ、多摩の町でも少しずつにぎやかさを取りもどしてきています。

保護者の皆さま、ご家族の皆さま、お子さまのご入学、ご進級、誠におめでとうございます。新入生34名、転入生4名を迎えて、貝取小学校令和5年度の学校生活が始まりました。

希望に満ちあふれた子供たちの期待に応え、楽しく充実した学校生活を送れるように、教職員が一丸となって指導に当たります。

このたび、本校第4代校長に着任しました鈴木純一郎すずきじゅんいちろうと申します。よろしくお願ひいたします。学校が地域コミュニティーの中核としての役割を果たすため、全力を尽くします。

貝取小学校の教育目標(かいどりの子)は以下の通りです。

- ㊦ 考える子 (進んで学び、深く考え、行動できる子)
- ㊧ 思いやりのある子 (互いに理解し合い、協力し合って仲良くする子)
- ㊨ 努力する子 (最後までねばり強くやりとげる子)
- ㊩ 体力のある子 (進んで体力の向上を図り、健康や安全に気をつける子)

これらの教育目標を達成するために、本校は各学級担任による「学級経営」を重視し、日々の学校生活が楽しく、学級が子供たちにとって安心して生活できる居場所となるよう全教職員がかかわり、様々な取り組みに力を入れていきます。クラスが楽しく安心できる集団であれば、他の学年、学級の子供どうしの活動においても、良好な人間関係を築く資質、能力が育まれます。多様な考えをもつ相手を受け入れ、「多様性の理解」を重視した指導を重ねていきます。

世界では感染症の拡大や国と国との争いなどにより不安な生活が続き、子供たちが安心して学校で学ぶことができない地域もあります。自分の身の回りのこととともに、広く世界に目を向けて考え、行動できる大人への成長が求められます。本校の教職員は、保護者や地域の皆さま方と温かな心のつながりを持ち、強固な連携によって、子供たちが安心して生活できる学校づくりを進めてまいります。保護者の皆さまや地域の皆さまには、お願ひをすることや助けていただくことが多々あると思いますが、子供たちの笑顔のために、ご協力をよろしくお願ひいたします。